

Smile Woman!
インタビュー①この人の仕事のかたち
どこか輝いて見える「仕事」をしているあの人にズームアップ

Yuriko Akada

伝統の節句飾りの 魅力をお客さまへ

藤の名所として有名な和気町の藤公園からほど近い場所にある「人形の徳水」。雛飾りや五月飾りなど県下でも最大級の品揃えを誇る同店は、東端地区はもとより、遠方からも多数の来店者が訪れる。赤田百合子さんは、日本有形文化財の認定アドバタイザーとして、接客やお客さまの要望に応じた節句人形・節句飾りの提案を行なっている。

◎お客さまとの対話を大切に



仕事の魅力をお客さまにうかがうと、「二つとら顔のちがう愛らしいお人形さんに囲まれて、毎日癒される思いです」と笑顔で話す。その方で、「二口に雛人形といっても、昔ながらのうりざね顔のお雛さまだけでなく、目のパッチリとした最近の美人顔をしたお人形をご希望の方も増えていきます」。また、「以前は母方の祖父さまから贈るのがしきたりでしたが、最近はご両家「家お揃い」で、来店くださるケースが増えていきますし、さまざまなお意見やご家庭の開口などもうかがったうえでお人形を提案していきます」と話す赤田さん。伝統的な節句人形といっても、その「下」は時代とともに変化し、また多様化している。それだけに赤田さんは、最新の商品情報を絶えずチェックし、またお客さまとのコミュニケーションを何よりも大切にしている。

有限会社人形の徳水
節句人形アドバイザー

赤田百合子さん
ningyo-tokunaga.co.jp

◎伝統を継承し、世界にも発信



人形の徳水は、日本屈指の鯉のぼりメーカー・株式会社徳水（このぼりの本社に併設されている。同社は新しい素材・デザインをいち早く取り入れた商品開発で知られ、また鯉のぼり文化を欧州や中国・南米など海外に紹介する取り組みも積極的に手がけている。赤田さんも、「鯉のぼりにしても、お人形にしても、伝統は守りつつ新しいものも取り入れて、後世に受け継いで、そして世界に広めていきたい」と目を細める。

◎世代を越えて親しまれるお店を

そうした赤田さんの楽しみは、家庭菜園で採れた野菜を使った夕食など、三人のお孫さんと一緒に過ごすひととき。また家族の節句飾りの実体験が、お客さまとの対話や商品提案に役立つ場面も多いという。「お客様に快くお人形をお選びいただいて、末長いお付き合いをさせていただいたら嬉しいですね」と赤田さんは笑う。実際に同店は、「評判を聞きつけて県外から訪れるお客さまや、親子二世帯・三世帯にわたるリピーターも数多く、豊富な品揃えから選べ、きめ細かなアドバイスが受けられる人形の徳水は、節句人形・節句飾りを求める人々を魅了し、絶大な支持を集めている。